

## 【平成 29 年 5 月】

### <医療と介護の連携> 介護支援専門員の皆さま、毎月事例検討会を行います

大崎市在宅医療・介護連携支援センターでは平成29年5月より毎月事例検討会を開催します。この事例検討会は、「医療のアセスメント」をどのように考えればいいのか、病院とのつなぎや、ケアマネジメント（アセスメント・ケアプラン立案）についてセンターの相談員と行政の保健師とともに、1事例ごとの小規模な勉強会です。

センターでの開催のほかに、各事業所に出前事例検討会も行います。

「この事例の振り返りを行いたい」「今どうしたらいいか悩んでいる」  
「うちの事業所の勉強会に来てほしい」など  
下記担当までいつでもご連絡ください。

(問い合わせ) 大崎市在宅医療・介護連携支援センター  
電話 0229 - 25 - 5376



### <地域を支える仕組みづくり> 地域支援コーディネーター意見交換会を開催しました

5月22日（月曜日）午後1時30分から大崎市役所北会議室にて「地域支援コーディネーター意見交換会」を開催しました。

「地域を支える仕組みづくり（生活支援体制整備事業）」を行っている市内4団体の地域支援コーディネーター等及び大崎市民生部社会福祉課地域包括ケア推進室・市民協働推進部まちづくり推進課の担当者が集まり、それぞれの団体の今年度の活動計画や活動していくなかでの課題について話し合いました。

今後もそれぞれが自分の地域での活動を進めるために、意見交換会を隔月で、事業を実施している4団体が会場持ち回りで開催することが決まりました。

### <地域を支える仕組みづくり> 清滝地区（古川地域）でワークショップが行われました

5月28日（日曜日）午前9時から古川清滝地区公民館において、清滝地区振興協議会主催「第2回清滝地区ワークショップ」が開催され、清滝地区の住民や、行政と社会福祉協議会の担当者等38名が集まり、「清滝地区を住みよい地区にするために」楽しみながら地域を考えよう、と話し合いを行いました。今回の話し合いは2月に開催された第1回目が出た課題を掘り下げ、今後の取り組みに向けたさまざまな意見が出されました。

今回出された意見には、「現在は子どもに頼んで買い物をしてもらっているが、この先不安である」「空き家が目立っているため、空き家を利用して人が集まる場を作れないか」等がありました。

次回は7月に開催し、取り組みの具体化に向けた話し合いを行います。

## <医療と介護の連携> 大崎市医師会地域包括ケア推進委員会が開催されました

5月30日（火曜日）午後7時から大崎市医師会にて、大崎市医師会地域包括ケア推進委員会が開催されました。

この委員会は、大崎市医師会で地域包括ケアシステムの構築を目的に組織され、在宅医療・介護連携を進めるために課題を話し合い、具体的な取り組みを始めています。

今年度の第1回目は昨年度から検討を進めてきた、主治医・協力医制を中心に話し合われました。この仕組みは、在宅医療を24時間365日実施する中で、在宅医がお互いに連携しバックアップする仕組みです。まずは市内6診療所が連携し開始されました。

今後も、この事業の拡大や、多職種の情報共有の仕組みづくりなどを検討していくことが話し合われました。

## その他の主な取り組み

### <地域を支える仕組みづくり>

5月24日（水曜日）岩出山西大崎地区ワークショップに大崎市民生部社会福祉課地域包括ケア推進室の職員が参加し、西大崎地区の宝についての話し合いをサポート

### <地域を支える仕組みづくり>

5月26日（金曜日）川渡地区公民館で地域支援コーディネーター、公民館長、行政の関係者等が集まり、地域での課題や課題解決に向けた取り組み、行政の動きについての話し合いを実施

### <地域を支える仕組みづくり>

5月30日（火曜日）鳴子温泉地域上野々親和会にて、鳴子まちづくり協議会が取り組んでいる大崎地域自治組織戦略体制整備モデル事業及び大崎市生活支援体制整備事業の説明会を開催

### <医療と介護の連携>

大崎市在宅医療・介護連携支援センターによる地域資源調査（居宅介護支援事業所）を実施